

1 「目標」の進行状況について

目標の位置づけ：総合計画後期基本計画の計画期間(平成 24 年度～平成 28 年度)で達成しようとする成果指標
(各施策に対し、概ね1～4つの目標。合計目標数:78)

【「第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)」の見方】

<色別表示の見方>

■:目標達成(網掛け)

□:目標未達成

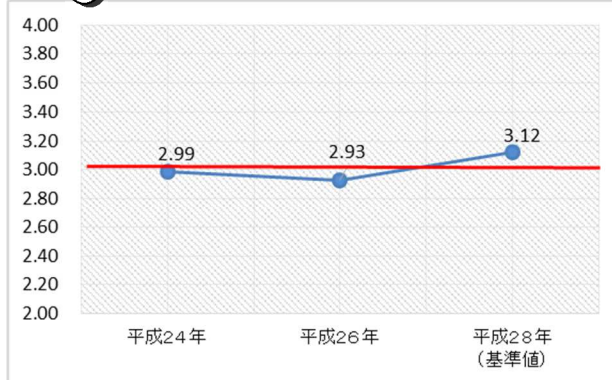
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
1	111	文化・芸術	貸し館系施設の利用件数	件/年	① 8,705 [H22]	② 9,500	③ 10,822	④ 達成	⑤ 文化への関心の高まりとともに、余暇利用などを目的とした貸館利用のニーズも年々増えており、目標を達成することができた。	⑥ 既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と適切な維持管理を図ります。
2			観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	38,975	未達成	展覧会等企画の充実に取り組んだ結果、入館者数の増加の兆しが見えたものの、目標値を達成することができなかった。	利用者の増加に向け、魅力ある展示や、講座などの開催を推進します。
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	183	達成	多くの子どもの参加が期待できる教室を目指し、平成27年度からは、実際に子ども達が体験できる「勾玉づくり」、「土器接合体験」等の教室を行い、また、平成28年度からは、保護者も参加できるようにした。その結果、参加者は大幅に増加し、目標値を達成することができた。	市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、小中学校への出土品の貸出しや各種講座の開催など、文化財に触れる機会の拡充を図ります。

⑦ 市民アンケート満足度指数の推移

施策名：文化芸術

- 文化振興のあり方検討
- 既存施設の充実と有効活用
- 市民の文化・芸術活動の促進
収蔵美術品の調査・検討
- 佐久の先人(業績・影響などを残した人物)の調査検討と成果の活用
- 文化財の保護・継承と有効活用



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	⑨ 3.17
⑧ 満足度指数は、平成28年には0.19上昇した。これは文化振興基金活用事業等の効果によるものと考えます。 今後も文化振興基金活用事業を充実させることにより満足度の上昇を目指す。 目標値は、年+0.01を見込み3.17とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	⑩ ・文化に対する市民の意識調査を実施し、文化振興計画の改定に向けた検討を進めます。 ・佐久市文化振興基金を運用益を活用し、演劇や音楽、舞踊など優れた舞台芸術に触れる機会を提供し、施設の利用を促進します。 ・「佐久の先人」の業績を広く市民に周知します。 ・無形文化財の後継者の育成など、保存会などへの支援を図ります。

① 計画策定時の値

後期基本計画策定当時の直近の値(ほとんどの項目において、平成22年度の値)

② 平成 28 年度末の目標値

後期基本計画において、平成28年度までに達成すると定めた値

③ 平成 28 年度実績

計画最終年度の実績値

④ 最終評価

次の判定基準によって自動表示されます。

T : 目標進捗率 = (H28 年度実績値 - 現状値) / (H28 年度目標値 - 現状値)

区分	H28 (H29 年度に評価)
達成	目標値以上の改善 (T ≥ 1.0)
未達成	改善が見られない、悪化している (T < 1.0)

※統計調査等の実施状況によっては、実績値が公表前のものがあるが、本年度は最終年度の評価となることから、その場合は直近の公表値を使用し最終的な目標の達成見込を記載しています。

⑤ 結果の分析

各目標の最終評価を踏まえて考えられる要因分析や補足説明を記載

⑥ 第二次総合計画前期基本計画の前期の主な取組記載内容

目標に関連した第二次総合計画前期基本計画への記載内容

⑦ 市民アンケート満足度指数の推移

当該施策に対する市民アンケート結果について、「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらでもない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として平均値を集計したものを満足度指数とし、第一次佐久市総合後期基本計画期間内の3回の結果の推移をグラフ化

⑧ アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠

⑦のアンケート結果を分析し、第二次佐久市総合計画前期基本計画の施策毎の目標に設定した市民満足度の設定根拠を記載

⑨ 第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)

第二次佐久市総合計画前期基本計画において、平成33年度に達成すると定めた値

⑩ 第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)

⑥で記載されたもの以外の第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容

2 評価方法に関する過去の部会での指摘事項

- (1) 目標値の中には市税の収納率 100%といった現実的ではないものや、人口が減少している中で右肩上がりに人数が増加することを目標とするような始めから困難なものがある。第二次総合計画前期基本計画では現状を踏まえた目標設定が必要である。
- (2) 農業の施策のように目標の1つの「認定農業者数」が増えることだけでは、施策全体が良くなったとは言えない。第二次総合計画前期基本計画の目標設定ではもっと施策全体を見て考える必要がある。
- (3) 林業、工業等の項目で実績値の統計数値が公表されていないため、評価ができなかった。この間がどうだったのかを分析しないと、次の10年どうしていくのか、チャレンジが本当に的確なのか曖昧になってしまうので、「集計中」ではなく何らかの方法で明らかにすることが必要。

《審議の視点》

- ・各施策の目標の最終評価に対する「結果の分析」の妥当性について
- ・行政の継続性の視点から、第二次佐久市総合計画前期基本計画の目標値である市民満足度を上昇させるためには「どのような取組が必要か」